		第2次総	合計画	施策評価シ-		和5年月	度分》					
施策コード	基本目標	6 【協働・行財政】 市員										
6 — 2	施策目標	2 市民協働の推進	4011000-	· ·								
	目標3. あらゆる	年齢のすべての人々の健康的な	生活を確保し	、福祉を促進する	目標10.	. 各国内及	び各国間の	不平等を是	正する			
	目標4. すべての	人々への包摂的かつ公正な質の	高い教育を摂	是供し、生涯学習の機	会 目標11.	. 包摂的で	安全かつ強	靱(レジリ:	エント)で丼	寺続可能な都市	方及び人間居住	
	を促進する				を実現する 目標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナ							
	目標 5. ジェンダ	一平等を達成し、すべての女性	及び女児の前	と力強化を行う アイカー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	シップを活性化する							
SDGs		o持続可能な経済成長及びすべての 雇用(ディーセント・ワーク)を		つ生産的な雇用と働き	が							
連携分野	目標 9. 強靱 (レ 及びイノベーション	ジリエント)なインフラ構築、 ノの推進を図る	包摂的かつ持	持続可能な産業化の促	!進							
	3 まべての人に 日本と等社を	- 7,m-C G [2] W	O 樹木原19	4 0 20 HERRS	40	や屋の不平等	A STATE OF THE STA	47.0		1	1	
	▼	4 育の高い数余を あんなに 5 ま深しよう	8 働きがい 経済成長	9 産業と技術革教 基盤をつくろう	10 4	#< t →	#ARMSALE	17 =	ートナーシップで 概を選成しよう			
	- ₩ •		1		•	⋽ ≻ I	▲ ■4:	=	**			
			- Beacher			M	1 1 1 1 1 1 1 1			I		
目指すべきま	ちの姿 誰もが地場	或活動に積極的に参加し、多様	な分野にわた	って、共に活躍して	います。							
	●主要施	策と概要【PLAN】			この1年	間の成果及	び反省点	[DO]		担当課	[CHECK]	
	における市民参画・	協働の促進 見直しに際しては、ワークショ	ップかど声量							_		
		売買しに戻しては、ラーランョ 過程からその見直しまでの市民								here.		
	ント等の企画・運営	への市民及び民間企業の参画・	協働を促進し		関する勉強	会」を合計	6回行い、i	市民と市職員		市民協働課	A	
	との情報交換や交流 ペートナーシップの構	を促進し、まちづくりへの意識 築を図ります。	啓発や参画機		TEL ME	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	,	C & 0728				
- NEW 5 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	17 077 011	来と四 / 4 / 6										
(2) 地域活動団	体、NPO等の育成	支援		広報紙・ホーム	ページによ	る制度の周急	知を行いま	した。また‡	也域づくり			
・地域づくり補助	金制度の周知及び有	効活用を図り、地域活動団体や 的な活動を育成・支援します。	NPO、ボラ		/、地域づく	りに取り組む	む団体による	る活動の事例	列発表を	市民協働課	A	
]体等の活動拠点施設			地域活動の参加動の拠点となる	スペースを	確保するこ	とができま	した。				
地域活動の各種	情報の収集・発信や	等の整備 地域活動団体の交流及び活動の	拠点となるス	動の拠点となる 市民と行政のま ではなく、市民	スペースを ちづくりを こが参加しや	確保するこれ	とができま めに、スペー	した。 ースの充実を	と図るだけ	市民協働課	В	
地域活動の各種	情報の収集・発信や		拠点となるス	動の拠点となる 市民と行政のま	スペースを ちづくりを こが参加しや	確保するこれ	とができま めに、スペー	した。 ースの充実を	と図るだけ	市民協働課	В	
・地域活動の各種 ペースの確保を図	は情報の収集・発信や ります。		拠点となるス	動の拠点となる 市民と行政のま ではなく、市民	スペースを ちづくりを こが参加しや	確保するこれ	とができま めに、スペー するために、	した。 ースの充実を 、行政も取り 見状値	と図るだけ	向性	中間値	
・地域活動の各種ペースの確保を図 ペースの確保を図 ●施策目標に対	情報の収集・発信や ります。 する市民満足度		拠点となるス	動の拠点となる 市民と行政のま ではなく、市民	スペースを ちづくりを こが参加しや	確保することを推進するためすい環境に	とができま めに、スペー するために、	した。 ースの充実を 、行政も取り 見状値 戊29年度)	を図るだけ)組んでい	向性		
・地域活動の各種ペースの確保を図 ・地域活動の各種ペースの確保を図 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	情報の収集・発信やります。 する市民満足度 などの育成		拠点となるス	動の拠点となる 市民と行政のま ではなく、市民	スペースを ちづくりを こが参加しや	確保するこ 推進するた。 すい環境に 単位 %	とができまめに、 かに、スペ・、 するために、 (平瓦	した。 一スの充実を . 行政も取り 見状値 戊29年度) 8.2	と図るだけ)組んでい 目指す方	向性	中間値	
・地域活動の各種ペースの確保を図 ・地域活動の各種ペースの確保を図 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	情報の収集・発信やります。 する市民満足度 などの育成		拠点となるス	動の拠点となる 市民と行政のま ではなく、市民	スペースを ちづくりを こが参加しや	確保するこ。 推進するたっすい環境に 単位	とができまめに、 かに、スペ・、 するために、 (平瓦	した。 ースの充実を 、行政も取り 見状値 戊29年度)	を図るだけ)組んでい 目指すた	ō向性 (≼	中間値令和4年度)	
	情報の収集・発信やります。 する市民満足度 などの育成	地域活動団体の交流及び活動の	拠点となるス	動の拠点となる。市民と行政のまではなく必要がありま	スペースを ちづくりを こが参加しや	確保するこ 推進するた。 すい環境に 単位 %	とができまめに、 かに、スペ・、 するために、 (平瓦	した。 一スの充実を 、行政も取り 見状値 党29年度) 8.2	と図るだけ)組んでい 目指す方	5向性 (4	中間値 令和4年度)	
・地域活動の各種ペースの確保を図 ・地域活動の各種ペースの確保を図 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	情報の収集・発信や ります。 する市民満足度 などの育成 の推進	地域活動団体の交流及び活動の		動の拠点となる。市民と行政のまではなく必要がありま	スペースを まちづくりを たが参加しや す。	確保するこ 推進するた。 すい環境に 単位 %	とができま めに、 するために、 (平 D 年度の実績	した。 一スの充実を 、行政も取り 見状値 戊29年度) 8.2 11.2 賃値	を図るだけり組んでい 目指す方	5向性 (4	中間値 合和4年度) 15.0	
・地域活動の各種ペースの確保を図 ●施策目標に対 市民団体やNPO 市政への市民参加 (1) 審議会等への	情報の収集・発信や ります。 する市民満足度 かなどの育成 1の推進 ●成果 の市民公募委員の登月	地域活動団体の交流及び活動の	単位	動の拠点となる。市民と行政のまちではなく、大変がありませて、「ではなく、大変がありませた。」では、「ではなく、大変がありませた。」では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、「	A ペースを も	確保するこ 推進するたっ すい環境に 単位 % 各 令和2年度 4	とができまかに、 がでえるために、 (平 D 年度の実績 令和3年度	した。 一スの充実を 、行政も取り 見状値 发29年度) 8.2 11.2 f値 令和4年度	を図るだけ り組んでい 目指す方 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	5向性 (4 目 (目指す 令和5年度	中間値 令和4年度) 15.0 標値 一方向性) 令和10年度	
・地域活動の各種ペースの確保を図 ●施策目標に対 市民団体やNPO 市政への市民参加 (1) 審議会等への (2) 市内NPO お	情報の収集・発信や ります。 する市民満足度 などの育成 の推進 ●成果 の市民公募委員の登月 法人数	地域活動団体の交流及び活動の	単位人団体	動の拠点となる 市民と行政のま ではなく、市 く必要がありま 現状値 (平成29年度) 4 5	スペースを さい。 令和元年度 3 7	確保するこ 推進するた。 すい環境に 単位 % % 令和2年度 4	とができまかに、 サカに、カカに、 中度の実績 令和3年度 6	した。 一スの充実を 、行政も取り 見状値 交29年度) 8.2 11.2 賃値 令和4年度 5	を図るだけ り組んでい 目指す方 タ 令和5年度 7	Tinht	中間値 合和4年度) 15.0 標値 一方向性) 令和10年度 6	
・地域活動の各種ペースの確保を図 ・地域活動の各種ペースの確保を図 ・地域活動の各種ペースの ・市策に対 ・市民団体やNPO ・市政への市民参加 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	情報の収集・発信や ります。 する市民満足度 などの育成 の推進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	地域活動団体の交流及び活動の指標	単位 人 団体 か刃	動の拠点となる 市民と行政のま ではなく、市 く必要がありま 現状値 (平成29年度) 4 5	A ペースを も	確保するこ 推進するたっすい環境に 単位 % 令和2年度 4 9	とができまった。 (平 D)	した。 一スの充実さ 、行政も取り 記状値 党29年度) 8.2 11.2 5値 令和4年度 5 9	を図るだけ り組んでい 目指す方 令和5年度 7 10	5向性 (4 目 (目指す 令和5年度	中間値 令和4年度) 15.0 標値 一方向性) 令和10年度	
・地域活動の各種ペースの確保を図 ●施策目標に対 市民団体やNPO 市政への市民参加 (1) 審議会等への (2) 市内NPO お	情報の収集・発信や ります。 する市民満足度 などの育成 の推進 ●成果 の市民公募委員の登月 法人数	地域活動団体の交流及び活動の指標	単位人団体	動の拠点となる 市民と行政のま ではなく、市 く必要がありま 現状値 (平成29年度) 4 5	スペースを さい。 令和元年度 3 7	確保するこ 推進するたっすい環境に 単位 % 令和2年度 4 9	とができまった。 (平 D)	した。 一スの充実を 、行政も取り 見状値 交29年度) 8.2 11.2 賃値 令和4年度 5	を図るだけ り組んでい 目指す方 令和5年度 7 10	Tinht	中間値 合和4年度) 15.0 標値 一方向性) 令和10年度 6	
・地域活動の各種ペースの確保を図 ・地域活動の各種ペースの確保を図 ・地域活動の各種ペースの確保を図 ・地域活動である。 ・ボースのでは、 ・ボースを図 ・ボースを図 ・地域活動である。 ・ボースを図 ・地域活動である。 ・ボースを図 ・地域活動である。 ・ボースを図 ・地域活動である。 ・ボースを図 ・地域活動である。 ・ボースを図 ・ボースを図	情報の収集・発信や ります。 する市民満足度 などの育成 の推進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	地域活動団体の交流及び活動の指標	単位 人 団体 か刃	動の拠点となる。 市民と行文のましてはなぞく、必要がありま ではなずる。 「平成29年度」 4 5 0	スペースを まちづくりを まちづ参加しや ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	確保するこ 推進するたけい環境に 単位 % 令和2年度 4 9	とができまべいできまべい。 (平成 中度の実績 令和3年度 6 9 0	した。 一スの充実を 、行政も取り 見状値 戊29年度) 8.2 11.2 値 令和4年度 5 9 1	を図るだけ り組んでい 目指すた 今和5年度 7 10	Tinht	中間値 合和4年度) 15.0 標値 一方向性) 令和10年度 6	
・地域活動の各種ペースの確保を図 ・地域活動の各種ペースの確保を図 ・地域活動の各種ペースの確保を図 ・地域活動である。 ・ は、	情報の収集・発信や ります。 する市民満足度 かなどの育成 の推進 ●成果 の市民公募委員の登月 法人数 点施設数 実施計画に	地域活動団体の交流及び活動の指標	単位 人 団体 か刃	動の拠点となる。 市民と行文の書目 ではど行く、必要がありま 辺状値 (平成29年度) 4 5 1 1 1 2 4 5 1 1 1 2 2 4 5 1 1 2 2 3 4 5 6 7 8 9 9 4 5 6 7 8 9	スペースを たが参加しや もちが参加しや マ和元年度 3 7 0	確保するこ 推進するたけい環境に 単位 % % 令和2年度 4 9 0	とができまべいできまれている。 (平成) は (平成)	した。 一スの充実を 、行政も取り 記状値 女29年度) 8.2 11.2 値 令和4年度 5 9 1	を図るだけ り組んでい 目指すた 令和5年度 7 10 1	5向性 (4 目) (目指す 令和5年度 5 7	中間値 合和4年度) 15.0 標値 一方向性) 令和10年度 6	
・地域活動の各種ペースの確保を図 ・地域活動の各種ペースの確保を図 ・地域活動の各種ペースの確保を図 ・地域活動の各種ペースのでは、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	情報の収集・発信や ります。 する市民満足度 かなどの育成 の推進 ●成果 の市民公募委員の登月 法人数 点施設数 実施計画に	地域活動団体の交流及び活動の指標	単位 人 団体 か列 担当部署	動の拠点となる。 市民と行政のま ではなく、、 く必要がありま 現状値 (平成29年度) 4 5 1 1 2 3 4 5 1 1 1 2 3 4 5 1 0	スペースを たが参加しや もちが参加しや マ和元年度 3 7 0	確保するこ 推進するたけい環境に 単位 % % 令和2年度 4 9 0	とができまべいできまれている。 (平成) は (平成)	した。 一スの充実を 、行政も取り 記状値 女29年度) 8.2 11.2 値 令和4年度 5 9 1	を図るだけ り組んでい 目指すた 令和5年度 7 10 1	5向性 (4 目) (目指す 令和5年度 5 7	中間値 令和4年度) 15.0 「一方向性) 令和10年度 6 10 1	
・地域活動の各種ペースの確保を図 ●施策目標に対 市民団体やNPO 市政への市民参加 (1) 審議会等への (2) 市内NPO (3) 地域活動拠点 事業 No	情報の収集・発信や ります。 する市民満足度 かなどの育成 の推進 ●成果 の市民公募委員の登月 法人数 点施設数 実施計画に	地域活動団体の交流及び活動の指標	単位 人 団体 か列 担当部署	動の拠点となる。 市民と行文のましてはな要があります。 現状値 (平成29年度) 4 5 「 0 市民参画の作道は、 ・ コヌがあります。 令和6年度は、	スペースを まちが参加しや 令和元年度 3 7 0 きを図る向調 これまでの地	確保することは 推進するたと すい環境に 単位 % 令和2年度 4 9 0 	とができまべいできまれています。	した。 一スのも取り 記状値 成29年度) 8.2 11.2 11.2 11.2 11.2 11.2 11.2 11.2	を図るだけ り組んでい 目指す方 令和5年度 7 10 1 N パブリック必 かれ7年度以	5向性 (4 目) (目指す 令和5年度 5 7	中間値 令和4年度) 15.0 「一方向性) 令和10年度 6 10 1	
・地域活動の各種ペースの確保を図 ●施策目標に対 市民団体やNPO 市政への市民参加 (1) 審議会等への (2) 市内NPO (3) 地域活動拠点 事業 No (1-1) 審議会等への	情報の収集・発信や ります。 する市民満足度 かなどの育成 の推進 ●成果 の市民公募委員の登月 法人数 点施設数 実施計画に	地域活動団体の交流及び活動の指標 1人数 系る事業名	単位 人 団体 か列 担当部署	動の拠点となる。 市民なる。 市民ながありま では火変がありま (平成29年度) 4 5 市民メンありま 本 5 6 たごの たこの たこの たこの たこの たい たい などの たい ではい たい たっ たっ	スペースを それ元年度 令和元年度 3 7 0 を図意 で活画面で活画の動産 をかかす。	確保することに 推進環境に 単位 % 令和2年度 4 9 0 に一方原変務、 本子の表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	とができまぺ。 とかできまぺ。 中度の実績 令和3年度 6 9 0 びを事業 かのより などのより などのより <td>した。 一スのも取り 元大値度 2.大でを表し、 11. 2 11. 2 11.</td> <td>を図るだけり組んでい 目指すた 令和5年度 7 10 1 N】</td> <td>5向性 (全 目指寸 令和5年度 5 7 1</td> <td>中間値 令和4年度) 15.0 「一方向性)</td>	した。 一スのも取り 元大値度 2.大でを表し、 11. 2 11.	を図るだけり組んでい 目指すた 令和5年度 7 10 1 N】	5向性 (全 目指寸 令和5年度 5 7 1	中間値 令和4年度) 15.0 「一方向性)	
・地域活動の各種ペースの確保を図 ●施策目標に対 市民団体やNPO 市政への市民参加 (1) 審議会等への (2) 市内NPO (3) 地域活動拠点 事業 No (1-1) 審議会等への	情報の収集・発信や ります。 する市民満足度 などの育成 の推進 ●成果 の市民公募委員の登月 法人数 点施設数 実施計画にイ	地域活動団体の交流及び活動の指標 1人数 系る事業名	単位 人 団体 か月 担当部署 市民協働課	動の拠点となる。 ・	スペーくかし、 マスペーくかし、 マスケンターン、 マスケンターン、 マスケンターン、 マスケンターン、 マスケンターン、 マスケンターン、 マスケンターン、 マスクルーン、 マスケンターン、 マスクルーン、 マスケンターン、 マスクルーン、 マスクルーン、 マスクルーン、 マスクルーン、 マスクルーン、 マスクルーン、 マスクルーン、 マスクルーン、 マスクルーン、 マスクルーン、 マスクルーン、 マスクルーン、 マスクルーン、 マスクルーン、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	 確保することは 単位 % 会 会 会 の 会 の 会 の 会 事 <l< td=""><td>とかに、 さまべい できるかける 年度の のの 進分 を富にりをできるから を変しの を高にりま活がら のの 進分 を高にりを変わり のの がたの を高にりを変わり のの を高にりを変わり を高にりを変わり のの を高にりを変わり を高にりを変わり できるの とから を高にりまする できるの との との</td><td>した。 一大た。 一大た。 一大た。 一大大信 一大大信 一大大信 一大大信 一大大信 一大大信 一大大子 一大大 一大大</td><td>を図るだけの 別組んでい 目指すた 令和5年度 7 10 1 パブリッく 年度業に関節に がよびルル体を がよびルル体を のがよびルル体を のがよびルル体を のがよびルル体を のがよびルル体を のがよびルル体を のがよびルル体を のがよびルル体を のがよびれた。 のがよびれた。 のがまでは、 のがなが、 のがながでが、 のがながでが、 のがながでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでが</td><td>5向性 (全 目指寸 令和5年度 5 7 1</td><td>中間値 合和4年度) 15.0 標値 一方向性) 令和10年度 6 10</td></l<>	とかに、 さまべい できるかける 年度の のの 進分 を富にりをできるから を変しの を高にりま活がら のの 進分 を高にりを変わり のの がたの を高にりを変わり のの を高にりを変わり を高にりを変わり のの を高にりを変わり を高にりを変わり できるの とから を高にりまする できるの との	した。 一大た。 一大た。 一大た。 一大大信 一大大信 一大大信 一大大信 一大大信 一大大信 一大大子 一大大 一大大	を図るだけの 別組んでい 目指すた 令和5年度 7 10 1 パブリッく 年度業に関節に がよびルル体を がよびルル体を のがよびルル体を のがよびルル体を のがよびルル体を のがよびルル体を のがよびルル体を のがよびルル体を のがよびルル体を のがよびれた。 のがよびれた。 のがまでは、 のがなが、 のがながでが、 のがながでが、 のがながでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでが	5向性 (全 目指寸 令和5年度 5 7 1	中間値 合和4年度) 15.0 標値 一方向性) 令和10年度 6 10	
・地域活動の各種ペースの確保を図 ●施策目標に対 市民団体やNPO 市政への市民参加 (1) 審議会等への (2) 市内NPO (3) 地域活動拠点 事業 No (1-1) 審議会等への	情報の収集・発信や ります。 する市民満足度 などの育成 の推進 ●成果 の市民公募委員の登月 法人数 点施設数 実施計画にイ	地域活動団体の交流及び活動の指標 1人数 系る事業名	単位 人 団体 か月 担当部署 市民協働課	動の拠点となる。 市民ながまりま 現状値	スペースを マスタルー では画る自効 民ので にる業にしまり 市 では、アスタルー のでは、アスター のでは、アスター のでは、アスター のでは、アスター	確保することに ・ 単位 ・ % ・ 名・・ ** ・ ** ・ ** ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を	した。 一スので 大変を 元大値を 大変の 11. 2 11. 2 1	を図るだけの 別名がでい 目指すた ・	5向性 (全 目指寸 令和5年度 5 7 1	中間値 合和4年度) 15.0 標値 一方向性) 令和10年度 6 10	
・地域活動の各種ペースの確保を図 ・地域活動の各種ペースの確保を図 ・地域活動の各種ペースの確保を図 ・地域活動やNPO ・市政への市民参加 (1) 審議会等への (2) 市内NPO (3) 地域活動拠点 事業 No (1-1) 審議会等への (1-2) ヤトミーラ	情報の収集・発信や ります。 する市民満足度 などの育成 の推進 ●成果 の市民公募委員の登月 法人数 点施設数 実施計画にイ	地域活動団体の交流及び活動の指標 1人数 系る事業名	単位 人 団体 か月 担当部署 市民協働課	動の拠点となる。 ・	ストース	確保サることに ・ 単位	とがに、	した。 一ス行政も取り 元大で 元大で 元大で 大で に変情また担い た。 元大で た。 元大で た。 元大で た。 た。 た、 た、 た、 た、 た、 た、 た、 た、 た、 た、	を図るだけの 別組んでい 目指すた 令和5年度 7 10 1 N パナでい 本理で田体。 かって、 を発達信欄的にいない のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、	Tin性 (4) (4) (5) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	中間値 令和4年度) 15.0 標値 一方向性) 令和10年度 6 10	

拠点施設での相談業務等を、受託予定団体と打合せを行いながら、プレ オープンを経て正式オープンに向けて、人材育成についても併せて行う 必要があります。 (3) 地域活動拠点施設等整備事業 市民協働課 改善 施策の今後の方針 【ACTION】

協働・共助の仕組みつくりへの対応として、市民団体等が行う自主的な公共性・公益性のある活動にかかる経費の財政的な支援を行います。また、多様な人が 相談しやすい相談窓口や市民団体等の情報発信を行える場、チャレンジショップや打合せ・資料作成など様々な用途で利用できる市民活動拠点を整備してまい ります。

			第2	次総合	計画実施	計画事	業評価	西シート《令	和5	5年度分》		
事業No			施計画	に係る事	業名			課		グループ		作成日
(1-1)	審議会	等への市民参画						市民協働課		市民協働グループ	16年5月20日	
■総合計	†画の位	½置づけ					•					
		基本目標 6 【恊働・行財政】 市民と行政						ながり、共につ	重点施策			
++ -1- =		施策目標	2	市民協	働の推進							
基本語	計画	主要施策		多様な	分野における	市民参画	・協働	の推進				
		主要事業	1	審議会	等への市民参	達 画						
		目標17. 持続可	能な開	発のため	かの実施手段	を強化し、	グロー	ーバル・パー	トナ	ーシップを活性化する		
SDC												
連携分	分野											
		17 パートナーシップで 目標を達成しよう										
		&										
■事業内	字【PL	_AN]										
		政策形成過程から 合った行政サービ	っ市民の ごスの展)参画を 関及び	得ることで、 市民の参画意	市民目線は	に を目					
事業[的とします。						主な協働・				
								関連団体等				
		各種行政計画の第	在完 占	5 給 • 誣	価 目直 1 <i>lz</i>		昌公					
		帯壁行政計画のが 募やワークショッ を図ります。	ップなと	により	市民参画・協	協働体制の	充実					
事業机	既要							関連する				
		個別計画・ 根拠法令等										
事業の	 開始• 了	開始年度	令和元	年度	終了年度	令和10 4	年度					

■事業費(単位	:千円)【DO】										
	令和5年度	(実績)	令:	和5年度((計画)	令和	口6年度(計	†画)	令和	和7年度(計画)
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内部 (具体的な		事業費 (直接経費)	内訴 (具体的な		事業費 直接経費)	内訴 (具体的な		事業費 (直接経費)
		0			0			0			0
	(補助額)		(補助	額)		(補助	額)		(補助	額)	
	(補助額)		(補助	額)		(補助	強)		(補助	独)	
事業内訳	(補助額)		(補助	額)		(補助	類)		(補助	額)	
	(1111-537458)		(1m4)	IR/		(Imag)	187		(1112)	IR/	
	(補助額)		(補助	額)		(補助	額)		(補助	額)	
	(補助額)		(補助	額)		(補助	額)		(補助	額)	
	合 計	0	合	計	0	合	함	0	合	計	0
	(補助額)	0	(補助	額)	0	(補助額	a)	0	(補助	須)	0
	成果指標		単位	現状値			・年度の実績		A 7		目指す方向性)
(1)	古民小賞禾昌の翌日	3 / */r	人	(平成29年度 4	(g) 令和元年度 3	令和2年度 4	令和3年度	令和4年度 5	令和5年度	令和5年度 5	令和10年度
(1) 僧峨云寺。(0)	(1)審議会等への市民公募委員の登用人数			7	3	*1	0	3	•	J	

指標の分析

市民公募委員の登用人数は前年に比べて、2名の増となっており、目標値を達成しています。

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	市民参画の手法・制度としてパブリックコメント・ワークショップ・市民意識調査 (アンケート) 市民公募委員等があげられます。これらは行政運営の市民参画の推進のため重要です。 幅広い意見を掘り起こすためにも審議会等への市民参画は必要です。
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性	パブリックコメントやワークショップ等について、必要がある場合には、各課において、広報誌や市ホームページで広く周知し、募集を行っています。
妥当性	・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか	各種審議会等は市が実施するため、その市民参画も市が実施する必要があります。
施策への貢献度	・施策への貢献度・目標達成度・市民サービスへの効果	審議会等への市民参画は、総合計画における市民協働の推進 を図るために必要な事業であり、多様な分野における市民参 画・協働の促進に繋がります。

課長意見	方向性
市民参画の推進を図るため、市民公募の登用人数の拡充や、パブリックコメント、市民の意向調査(アンケート)等の手法を充実させていく必要があります。	現状維持

		第2	2次総合計画実施計画事業	評価シート《令和	和5年度分》							
業No		 施計画	同に係る事業名	課	グループ	作成日						
(1-2) ヤ	トミ―ティングプロシ	ミーティングプロジェクト事業 企画政策課 政策推進グループ 令										
総合計画	の位置づけ			•								
	基本目標	6	【協働・行財政】 市民と行政が	つながり、共につ	くるまち	重点施策						
基本計画	施策目標	施策目標 2 市民協働の推進										
277111	主要施策	1	多様な分野における市民参画・協	協働の促進								
	主要事業	-	ヤトミーティングプロジェクト	事業								
	目標3. あらぬ	る年齢	のすべての人々の健康的な生活を	確保し、福祉を促	進する							
	目標4. すべて	の人々	への包摂的かつ公正な質の高い教	育を提供し、生涯	学習の機会を促進する							
	目標 6. すべて	の人々	・の水と衛生の利用可能性と持続可	能な管理を確保す	-S							
000	目標 9. 強靱	(レジリ	エント)なインフラ構築、包摂的	かつ持続可能な産	業化の促進及びイノベーシ	ョンの推進を図る						
SDGs 連携分野	目標10. 各国内	及び名	国間の不平等を是正する									
	目標11. 包摂的	で安全	とかつ強靱(レジリエント)で持続	可能な都市及び人	間居住を実現する							
	目標17. 持続可	能な開	見発のための実施手段を強化し、グ	ローバル・パート	ナーシップを活性化する							
	3 すべての人に 他族と間をモ	費の高い初 みんなに	5 ジェンダー事等と 8 機合がいも 展示成長も	9 希腊を改める	0 APBの不平等	17 A-HP-DOPT BEGRADUS						
事業内容	(PLAN)											
事業目的	関わらず、誰も	所、年 が活路	時」、「何かを頑張ろうと思った 齢や性別、置かれている境遇などに と活躍の機会を見出せるまちの実践	こった	1方創生事業プロジェクト会 ・イング)	議(通称:ヤトミー						
	市内になる様々	とんなれ	や場所などの地域資源を、市民の									
	ニーズとマッチ このことを、市	ングさ と市民	せる仕組みを構築します。 との共同組織であるヤトミーティン	~	32期弥富市まち・ひと・し	ごと創生総合戦略						
事業概要	グと実施してい	さます。		関連する 個別計画・ —								
				根拠法令等								

事業の開始・ 終了

令和4 年度

開始年度

終了年度

令和6 年度

■事業費(単位	፟Σ:千円)【D	0]										
		05年度			和5年度(和6年度(和7年度(計	
	内訳 (具体的な		事業費 (直接経費)	内記 (具体的な		事業費 (直接経費)	内記 (具体的な		事業費 (直接経費)	内訴 (具体的な		事業費 直接経費)
	まち・ひと・し 推進事業支援業	ごと創生 務委託料	4, 994	まち・ひと・ 推進事業支援	しごと創生 業務委託料	5, 000	まち・ひと・ 推進事業支援!	しごと創生 業務委託料	5, 000			
	(補助	額)	2, 497	(補助	額)	2, 500	(補助	額)	2, 500	(補助	額)	
	(補助額	独)		(補助	額)		(補助	額)		(補助	額)	
事業内訳												
争未内訳	(補助	額)		(補助	額)		(補助	額)		(補助	額)	
	(補助	額)		(補助	額)		(補助	額)		(補助	額)	
	(補助 [*]	額)		(補助	額)		(補助	額)		(補助	額)	
	合	計	4, 994	合	計	5, 000	合	計	5,000	合	計	0
	(補助額	須)	2, 497	(補助	額)	2, 500	(補助	額)	2, 500	(補助	(1)	0
	成果指	 信標		単位	現状値			予年度の実 紀				指す方向性)
					(平成29年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和10年度
												l

指標の分析

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	市民の中には、得意なことがある、やってあげたいことがあるという人はいるものの、支援の方法がわからない、活躍の場がない、活動する敷居が高い等の意見があります。 誰もが活躍できる場をつくるとともに、多様な主体が連携・協力できるようなネットワークを構築し、それぞれの強みが活かされ、弱みが補われるようなまちづくりの仕組みを作っていく必要があります。
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性	国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用し(3年計画のうち2年目)、市民団体であるヤトミーティングの法人化の動きを早め、令和6年4月1日にNPO法人設立となるよう準備を進めてきました。また、まちなか交流館2階の α 拠点の設計も行い、ソフト・ハード両面から事業を前進させることができました。
妥当性	・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか	市がカバーできない市民ニーズへの対応や、市民ニーズとのマッチングは市民団体やNPO団体等が補っていくことが望ましく、各種団体は市内に存在するものの、その団体と市民や、団体同士をつなぐ中間支援を行う団体が市内に存在しないため、市が実施を促す必要があります。
施策への貢献度	・施策への貢献度・目標達成度・市民サービスへの効果	総合計画における市民協働の推進を図るために必要な事業であり、市民の暮らしやすさに繋がります。

課長意見	方向性
令和6年度は、これまでの地方創生推進事業を継続的に実施し、令和7年度以降に予定している市民活動拠点 運営業務、弥富市地域資源バンク管理運営業務、交流促進事業の企画運営業務、地域資源に関する情報の収集 及び発信業務がスムーズに委託できるよう進める必要があります。また、デジタル田園都市国家構想交付金 (地方創生拠点整備タイプ)を活用した拠点整備を一体的に進めていくことで、より効果的で効率的な事業展 開を目指していきます。	現状維持

		第2	次総合	計画実施	計画等	事業評	価シート《全	介和5 :	 年度分》				
事業No	実		に係る事				課		グループ		作成日		
(2) 協働	りのまちづくり推進事	業					市民協働課	課 市民協働グループ 令和6年5月2					
■総合計画	の位置づけ							<u> </u>					
	基本目標	6	【協働	」・行財政】「	市民と行	亍政がつ	かながり、共に	つくる	まち		重点施策		
基本計画	施策目標	2	市民協	働の推進									
本 个計画	主要施策	2	地域活	動団体、NP	O等の	育成・	支援						
	主要事業	2	協働の	まちづくり推	推事業								
	目標17. 持続可	能な開	発のたと	めの実施手段	を強化し	- -、グロ	ローバル・パー	-トナー	-シップを活性化する				
SDGs													
連携分野													
	17 パートナーシップで 目標を達成しよう												
	(A)												
	80												
■事業内容													
	地域の団体におい 地域で公益的な活	舌動を行	亍うボラ	ンティア団体				自治会	、町内会、ボランティ	ア団体			
事業目的	を支援することを	を目的る	こします	0			主な協働・ 関連団体等	N P C) 、グループ、コミュニ	ティ推進	生協議会		
							闵建凹体守						
	一定の要件を満た	> すNI	7 ○ 団体	やボランティ	ア団体	(等が白							
	主的かつ主体的にし、1団体につき	こ行うな	公益的な	コミュニティ	活動事	業に対		弥富市	f地域づくり補助金交付	要綱			
事業概要					. , ,	, 0	関連する	弥富市 金交付	ī学区(地区)コミュニ け要綱	ティ推進	進協議会補助		
							個別計画· 根拠法令等						
事業の開始	·問始任度	亚出10	年度	終了年度	△和10	佐	F ft						
終了	· 開始年度	平成18	干度	一	77和10	年度							

■事業費(単位	並:千円)【DO】										
	令和5年度			和5年度(言			和6年度(計			和7年度(言	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訓 (具体的な		事業費 (直接経費)	内部 (具体的な	·内容) (事業費 [直接経費]	内訴 (具体的な		事業費 (直接経費)
	地域づくり補助 金	1, 183	地域づく 金	り補助	2, 000	地域づく 金	り補助	2, 000	地域づく 金	り補助	2,000
	(補助額)		(補助	額)		(補助	額)		(補助	額)	
	コミュニティ推進協議会 補助金	6, 446	コミュニティ打 補助金	推進協議会	13, 000	コミュニティ拍 補助金	進出協議会	13, 000	コミュニティ推 補助金	進協議会	13, 000
	(補助額)		(補助	額)		(補助	額)		(補助	額)	
事業内訳	(補助額)		(補助	額)		(補助	額)		(補助	額)	
	(補助額)		(補助	額)		(補助	額)		(補助	額)	
	(補助額)		(補助	額)		(補助	額)		(補助	額)	
	合 計	7, 629	合	計	15, 000	合	計	15, 000	合	計	15, 000
	(補助額)	0	(補助		0	(補助		0	(補助		0
	成果指標		単位	現状値			r年度の実績 -				指す方向性)
				(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和10年度
(2) 市内NPO	法人数		団体	5	7	9	9	9	10	7	10

■事業の評価【CHECK】

令和5年度に1団体増え、目標値を達成しています。

指標の分析

項目	評価視点	評価の結果
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	市民と行政との協働のまちづくりを推進するためには、地域の団体などが行う自主的な公益性のある地域活動が継続的に行われるよう、補助金によって市が事業費の一部を支援することが必要です。
効率性		対象経費について、補助金を適切に使用しているか確認する ため、団体の代表者等が申請者の際に事業内容や経費の使途 等を聞き取りをしたり、実績報告書において当該事業を行っ た結果に対する効果検証等について報告を受け確認を行って おります。
妥当性		地域が抱える課題を行政だけで解決することは困難です。市が地域活動に対して補助金を交付することも協働であることから、市民や、NPO団体と連携してまちづくりをを行うため、引き続き市が実施する必要があります。
施策への貢献度	・施策への貢献度・目標達成度・市民サービスへの効果	協働のまちづくり推進事業は、総合計画における市民協働の推進に必要な事業であり、地域活動団体、NPO等の育成・支援は地域の支援に繋がります。

課長意見	方向性
補助金を通して、市民団体と行政が協働できる関係性が構築されていくことから、交付した補助金によって事業が行われた地域や、文化的な活動への貢献度や、課題解決につながっているかを効果・検証していく必要があります。	

	第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和5年度分》												
事業No		実施計画に係る事業名						課		グループ	-プ 作成日		
(3)	地域活	舌動拠点施設等整備事業						市民協働課	Ę	市民協働グループ	令和6年5月20日		
■総合計	画の位	位置づけ											
	基本目標 6 【協働・行財政】 市民と行政が							ながり、共に	重点施策				
		施策目標	2	市民協働の推進									
基本語	計画	主要施策		地域活動団体等の活動拠点施設等の整備									
		主要事業	3	地域活動拠点施設等整備事業									
		目標17. 持続可	能な開	発のため	めの実施手段	を強化し	、グロ	ーバル・パー	・トナ	ーシップを活性化する			
SD(連携分													
X=1737	· J - J												
	17 パートナーシップで 日保を高度しよう												
		8											
■事業内	内容【PL												
		市民との協働を目が気軽に参加でき	きる場を	提供し	、自主性・主				ΝP	O、地域活動団体			
事業	目的	市民活動を支援す	「ること	:を目的	とします。			主な協働・ 関連団体等					
								从在 国怀节					
		地域活動の各種情					を流及						
		び活動の拠点とな	よるス〜	ペースの	整備を行いま	(す。							
事業権	既要							関連する 個別計画・					
								根拠法令等					
事業の終っ	開始• 了	開始年度	令和元	年度	終了年度	令和10	年度						

■事業費(単位	:千円)【DO】											
	令和5年度	(実績)	令	令和5年度(計画)			令和6年度(計画)			令和7年度(計画)		
内訳 月 (具体的な内容) (直		事業費 (直接経費)	内記 (具体的な		事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)		事業費 内 (直接経費) (具体的			事業費 (直接経費)	
		0			0			0			0	
	(補助額)		(補助	額)		(補助	額)		(補助	額)		
	(補助額)		(補助	額)		(補助	額)		(補助	額)		
事業内訳	(補助額)		(補助	変百)		(補助	好)		(補助	好)		
	(1111-537-1157)		(1819)	IR/		(Imag)	iR/		(Imag)	IR/		
	(補助額)		(補助	額)		(補助	額)		(補助	額)		
	(4年中 4年)		/ ↓ ± p↓	タモ)		/ 北井 日上 :	// /5/		(補助	##S\		
	(補助額)		(補助額)			(補助額)						
	合 計	0	合	計	0	合	計	0	合	計	0	
	(補助額)	0	(補助	額)	0	(補助額	(項)	0	(補助額	質)	0	
成果指標				現状値		各年度の		値		目標値(目	指す方向性)	
			単位	(平成29年度) 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和10年度	
(3) 地域活動拠点施設数			か所	0	0	0	0	1	1	1	1	

指標の分析

■事業の評価【CHECK】									
項目	評価視点	評価の結果							
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	市民と行政との協働のまちづくりを推進するため、地域市民活動を行う市民一人ひとりが、参加から交流へとステップアップし、また、地域市民活動団体がより充実した活動を展開できるような、地域市民活動の拠点施設の整備が必要です。							
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか・コストの削減、費用対効果・執行体制の効率性・手段の最適性	市民団体に利用しやすい拠点づくりのため、周辺自治体の状況や情報収集を積極的に行いました。							
妥当性	・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか	市民同士や市民と行政がつなぐ交流の拠点としての機能を担う施設であり、市民との協働を目指すまちづくりを推進していくためには、市が実施する必要があります。							
施策への貢献度	・施策への貢献度・目標達成度・市民サービスへの効果	地域活動拠点施設等整備事業は、総合計画における市民協働 の推進に必要な事業であり、活動場所を整備することは、地 域活動の参加促進や、充実に繋がります。							

スペースの確保だけでなく、備品等を整備し、情報発信、人材の発掘・育成をしていく必要があります。

課長意見	方向性
拠点施設での相談業務等を、受託予定団体と打合せを行いながら、プレオープンを経て正式オープンに向けて、人材育成についても併せて行う必要があります。	改善